

みずほCustomer Desk Report 2022/02/15号(As of 2022/02/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	115.43
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	115.59	1.1366	131.36	1.3570	0.7145
SYD-NY High	115.75	1.1369	131.38	1.3571	0.7150
SYD-NY Low	115.02	1.1280	130.05	1.3495	0.7087
NY 5:00 PM	115.55	1.1307	130.56	1.3532	0.7128

NY DOW	34,566.17	▲ 171.89	日本2年債	-0.0300	1.00bp
NASDAQ	13,790.92	▲ 0.24	日本10年債	0.2200	0.00bp
S&P	4,401.67	▲ 16.97	米国2年債	1.5692	8.27bp
日経平均	27,079.59	▲ 616.49	米国5年債	1.9063	7.47bp
TOPIX	1,930.65	▲ 31.96	米国10年債	1.9849	6.77bp
シカゴ日経先物	27,065.00	120.00	独10年債	0.2705	▲1.90bp
ロンドンFT	7,531.59	▲ 129.43	英10年債	1.5810	3.40bp
DAX	15,113.97	▲ 311.15	豪10年債	2.1280	▲4.70bp
ハンセン指数	24,556.57	▲ 350.09	USDJPY 1M Vol	7.12	▲0.53%
上海総合	3,428.88	▲ 34.07	USDJPY 3M Vol	7.25	▲0.31%
NY金	1,869.40	27.30	USDJPY 6M Vol	7.27	▲0.20%
WTI	95.46	2.36	USDJPY 1M 25RR	-1.49	Yen Call Over
CRB指数	265.425	2.34	EURJPY 3M Vol	8.98	0.65%
ドルインデックス	96.37	0.29	EURJPY 6M Vol	8.77	0.47%

東京	東京時間のドル円は115.59レベルでオープン。オープン直後につけた115.60を高値に、仲値後に下落に転じて一時115.29をつける。その後は115円台前半で小動きとなり、結局115.40レベルで海外時間へ。ウクライナ情勢が相場全体の重しとなる中、日銀の指値オペが下値を支える形となり、方向感のない推移となった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、115.40レベルでオープン。地政学リスクを嫌気しドル高・円高で始まり115.02まで売られたものの、露当局から対話継続が示唆されるとそれまでの動きが巻き戻され115.46レベルまで上昇し同レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ウクライナ情勢を巡る懸念が強まる中、海外市場のドル円は上値重く推移。アジア時間では日銀の指値オペに下値をサポートされ115円台前半のレンジトレードを維持するも、欧州時間に入るとリスクオフの円買い優勢となり、一時115.02まで下落。115円ちょうど付近ではしっかりと買い戻され、115.20近辺まで反発。早朝は「ロシア外相のラフロフ氏が欧米との対話継続を提案し、プーチン露大統領からの了承を得た」との報道を受けて、リスクオフの円買いが巻き戻され、115.46レベルでNYオープン。朝方は主要な米経済指標の発表が予定されておらず、ブラッド・セントルイス連銀総裁やバーキン・リッチモンド連銀総裁が米金融政策の正常化を支持する見方が示される中、早朝からの米債売り・米ドル買いの流れが継続。米長期金利が2%台を回復する動きを跳めながら高値の115.75をつけるが、ウクライナ情勢を巡るヘッドラインへの警戒感が強まる中、買いは長続きせず115.37まで反落。終盤も115円台前半での神経質な値動きが続き、結局、115.55レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.13台半ばでのみ合いでスタートするが、欧州勢参入後は地政学リスクの高まり、リスクオフのドル買い優勢となり1.1301まで下落。その後は下げ渋り、ラフロフ氏の発言を受けてリスクオフのドル買いが巻き戻されたことから1.1342まで反発後、1.1327まで上昇。朝方は米金利上昇が重しとなり、ユーロ売りドル買いが進行。一時1.1297まで下落するも1.1300付近ではすぐに買い戻された。午後はウクライナ情勢への警戒感が再び意識される中、次第に1.13レベルの維持が難しくなり、安値を1.1280まで更新し、ECB理事会が行われた2月3日以来の水準をつける。終盤はユーロが買い戻され、結局、1.1307レベルでクローズ。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月14日	22:30	米 ブラッド・セントルイス連銀総裁 講演		「計画されている緩和解除を前倒しする必要」

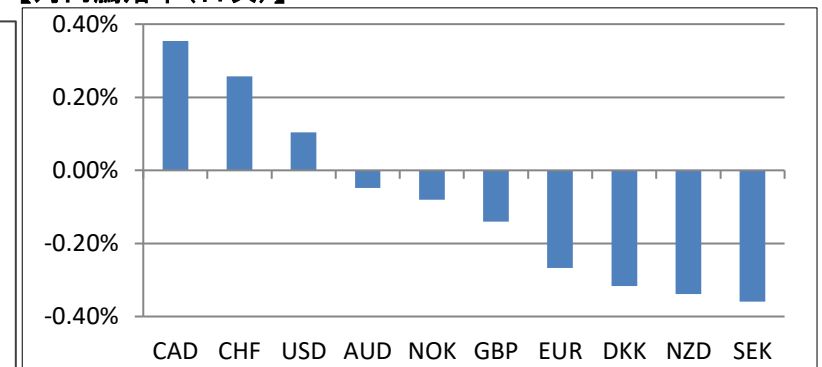
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月15日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	4Q 6.0%	-3.6%
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	4Q 1.5%	-0.9%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	4Q -1.3%	-1.2%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	12月 -	-1%/2.7%
	19:00	欧 ZEW景気期待指数	2月 -	49.4
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q P 0.3%/4.6%	0.3%/4.6%
	19:00	独 ZEW景気期待指数	2月 55.0	51.7
	19:00	独 ZEW調査現状指数	2月 -6.5	-10.2
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	1月 0.5%/9.1%	0.3%/9.7%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	2月 12	-0.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	115.00-116.00	1.1250-1.1350	130.00-131.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は115.59レベルでオープン。しばらくは方向感のない推移が続いたが、欧州時間入り後のリスクオフ寄りの動きに、一時115.02まで下落。ただ115円ちょうど付近ではしっかりと買いが入り反発。その後ウクライナ情勢に関するヘッドラインや米国各連銀総裁の発言に反応し、115.75まで上昇する場面も見られたが明確な方向感を欠き、オープンと同水準の115.55レベルでクローズ。

本日のドル円は115円台でのレンジ相場を予想。昨日の値動きから115円ちょうど近辺での底堅さが認識されたのと同時に、115円台後半での上値の重さも意識させられた。ウクライナ情勢がどちらに転ぶかわからない中、明確な方向性が出づらいつながりが続くと思われる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・小野崎